

両国高校を志望する 中学生の皆さんへ

校長 鯨岡 廣隆



“もし自分に「東京」のほびを問う人があるならば、自分は大川の水のほびと答へるのに何の躊躇もしないであらう。”・・・の一節がある「大川の水」の作者は、芥川龍之介（本校の前身、府立三中7回生）です。ちなみに、この大川とは、隅田川であり、本校の新校舎落成・創立八十周年記念として正門脇に文学碑が建設され、そこにこの「大川の水」の一節が刻まれています。

東京都立両国高等学校は、東京府立第三中学校として明治34年（1901年）に創立され、今年で116年目を迎える伝統校です。これまでに本校を巣立っていった卒業生は3万名におよび、政治・経済、学問・芸術などの幅広い分野で、国内外を問わず有為な人材を輩出しています。

両国高等学校では、生徒と先生が、1時間1時間の授業に真剣にとりくんでいます。そして、総合的な学力を身につけ、学校行事や部活動、委員会活動などを通して友情を育てるとともに、先生方との絆を深めています。そうした環境の中で、皆さんには、自分の夢や目標に向かっての努力を続け、リーダーとしての資質を備え、社会貢献への高い志と使命感を持ち、世界的な視野を持って国際社会で活躍できる人材、そして、日本の将来や世界の未来などを考えられる、人間性豊かな人になってもらいたいと考えています。

本校で、新しい「自分づくり」にチャレンジしてみてください。
皆さんのご入学を心よりお待ちしております。

平成28年4月